

親も子ものびのびのぼりべつ

同志社大学真山ゼミ B チーム

目的

新しい形の子育て支援を提供し、暮らしやすい登別に。生産年齢人口の増加を目指す。

求められる子育て支援

子育てに対して「自分の時間が取れない」「精神・体力がもつのか」といった親自身の心理面に関する不安をもつ人が多くおり、出産を躊躇う理由の1つになっている。実際に子育てをしている人もそのような心理的負担を感じている。現在積極的に実施されている金銭的支援も重要であるが、同様に親の心理的負担を取り除くための支援も必要。

事業内容

親にリフレッシュのための時間、場所を提供し、心理的負担を軽減するための事業

①のぼりっこ保育（預かり保育）

親の育児疲れ解消のために、就業状況に関係なく子供を預かる。

②のぼりんぐあっぷ（預かり保育×体験学習）

預かり保育の一環として、体験学習を提供。旅館でのおもてなし体験や自然体験など登別らしい体験を実施し、子供の成長、登別への愛着の醸成を期待する。登別への愛着が生まれることで、将来の他地域への流出を抑制することにつながる。

③ホビケア（預かり保育×趣味）

子供を預け、趣味を楽しめる場をつくる。料理教室、手芸教室などの教室を作りたい人を募集し、場所の提供・費用のサポートを行う。

想定される課題と解決策

自分のために子供を預けることに対して罪悪感を持ち、サービスの利用を避ける可能性。

→解決策：サービス無料利用券を子育て家庭に配布。サービス利用のハードルを下げる。

実施場所：幌別東小学校（廃校後）

廃校を利用する理由

・学校設備を活用した体験学習・初期費用の削減・地域コミュニティの中心としての役割
空き教室はフリースペースとしても有効活用。（参考：第15回登別政策フォーラム 真山ゼミ B 班「世代間交流の発信地、登別」）

運営方法

有志で人々を募り、新しい NPO 団体を立ち上げる。登別社会福祉協議会の協力を得て、

ファミリーサポートセンターの子供預かりに積極的な人を紹介していただく。

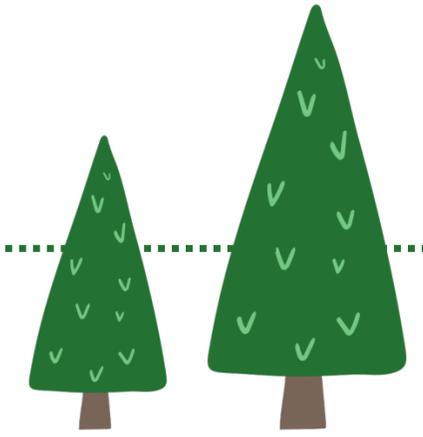
親も子ものびのびのぼりべつ

真山ゼミBチーム

千芳弘 鞆安仁 小早川凜乃 佐々木里菜
花牟禮優 曾根健太郎 野口倅 濱川美咲



目次



- 01** 現状分析
- 02** 事業内容
- 03** 運営方法・費用
- 04** まとめ

今求められる 子育て支援って？

01



01

現状分析

出産・妊娠で心配だと思うこと TOP10

(複数回答、n=150)

1	教育費等含めた経済面	47.3%
2	育児と仕事の両立	43.3%
3	自分自身の精神・体力がもつか	41.3%
4	育児の責任の重さ	38.0%
5	母親に向いているか	37.3%
6	育児に対してパートナーの協力が得られるか	22.0%
7	育児に対して勤務先が協力的か	18.0%
8	パートナーと子育ての方針があうか	12.7%
9	自分のキャリアを築けるか	10.7%
10	母親になったことでの社会的地位の低下	8.7%
-	心配だと思うことはない	20.7%

SHIKIGAKU CO., LTD.

こどもを産みたいと思わない、産む予定がない理由 TOP10

(複数回答、n=96)

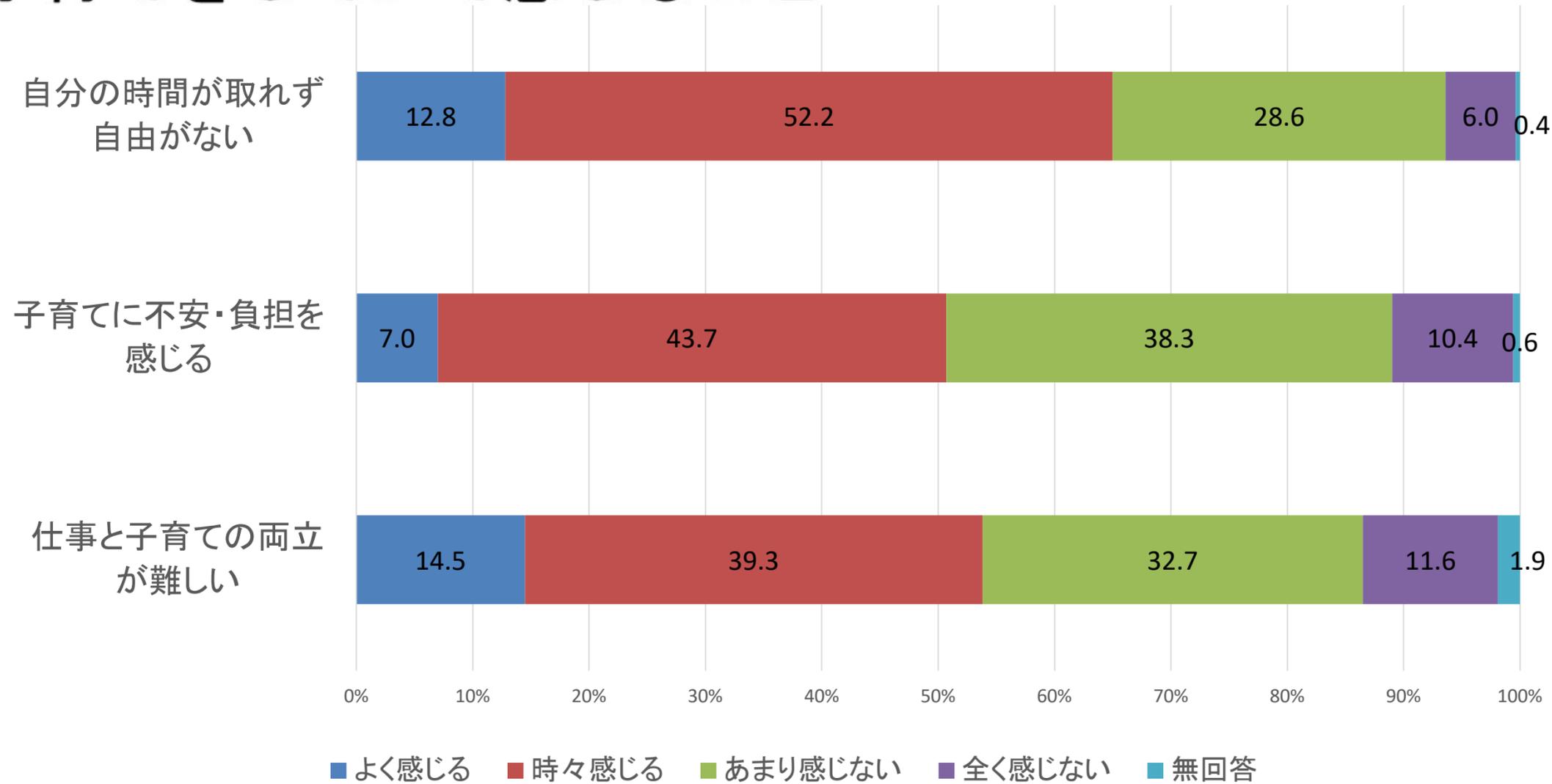
1	こどもが欲しいとは思わないため	34.4%
2	自由がなくなるため	32.3%
3	こどもを産む・育てる自信がないため 自分自身のために時間を使いたいため	30.2%
5	経済的な余裕がないため	28.1%
6	パートナーがいないため	27.1%
7	結婚するつもりがないため	21.9%
8	こどもが苦手なため	19.8%
9	出産時、会社を休職もしくは辞めなければならないため	9.4%
10	政府の子育て支援が十分でないため	8.3%
-	特に理由はない	11.5%

SHIKIGAKU CO., LTD.

出典:PRTIME【働く女性のこどもに関する調査】

→心理面の不安が出産を躊躇う理由に

子育てをされていて感じること



親の**経済的負担**だけでなく
心理的負担を取り除く
ためのサービスを実施



のびのび子育てをすることが
できる**先進都市**の**ほりべつ**に

登別市における現行の心理的支援

- ・ 保育所の一時保育
- ・ ファミリーサポートセンター

「足による投票仮説」（ティブー、1956）

人々は自らが選好する政策を実施している地域に移動する



先進的な取組みを実施することで移住者の増加が見込める

02

事業内容

親のリフレッシュ促進事業



02

事業内容①

のぼりっこ保育 (預かり保育)



- **リフレッシュ保育**
(親に自由な時間を提供する)
- **対象年齢** 未就学児、
小学校低学年
- **子どもの遊び場になる**

02

事業内容②

のぼりんぐあっぷ

のぼりべつ×Bring Up

(子どもの体験学習)



- ・対象年齢 2～12歳
 - ※体験内容による
 - ・実施日時 不定期
 - ・実施場所 体験学習それぞれの場所
- 例) 旅館おもてなし体験、自然体験
etc...
- ・子供たちの登別への愛着を醸成
➡ 将来の人口流出を抑制

旅館おもてなし体験

【午前のお仕事】

集合（自己紹介、1日の流れを説明、おきがえ）



大浴場・お部屋・旅館の掃除

【午後のお仕事】

部屋の案内方法のお勉強

夕食の事前準備



ママパパのお迎え入れ



夕食の配膳、家族で食事



02

事業内容③

ホビケア

Hobby care

(趣味×一時預かり)



専業主婦(夫)自分の時間を取りづらい

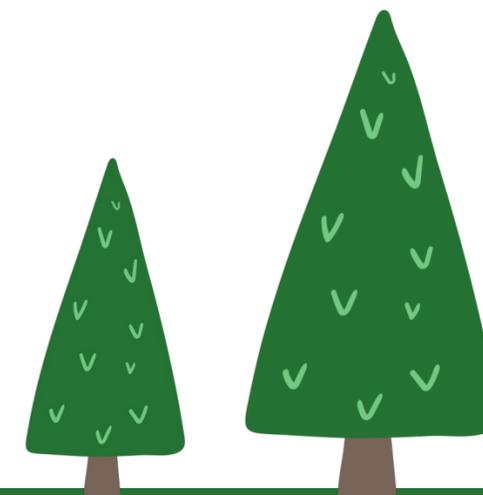


- 趣味を楽しむ場を提供
- 子供を預けることも可能
(のぼりっこ保育を活用)

趣味の場を提供してくれる人や一時預かりをしてくれる人を募集

➔ **場所の提供、費用サポート
内容は自由に決めてもらう**

例：料理・手芸・ヨガ教室など



のぼりっこ保育

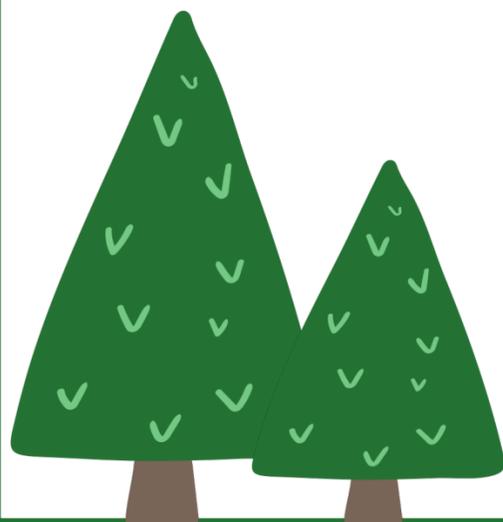
- ・保護者のリフレッシュ
- ・子供の社会性の向上

のぼりんぐあっぷ

- ・子供の成長
- ・登別の良さを発見
- ・将来的な定住につながる

ホビケア

- ・育児ストレスの軽減
- ・交友関係の構築



課題

自分のリフレッシュ目的で
子供を預けることに対する罪悪感



サービスを利用する上での
心理的ハードルが高い

解決方法

子供のいる家庭にサービスの
無料利用券を数枚配布



- ✓ 心理的ハードルが下がる
- ✓ 一度利用することで
次も利用しやすくなる
- ✓ サービスの周知にも



廃校予定の幌別東小学校

廃校を利用する理由

- 学校設備の使用した
体験学習
- 初期費用の削減
- 地域コミュニティの中心
- フリースペースの提供

(2021年度真山ゼミB班)



運營方法・財源



03

有志で人々を募り、 新しいNPO団体を立ち上げる

【候補の例】

ファミリーサポートセンター事業で子どもの預かりに積極的な人

【協力団体】

登別市社会福祉協議会



親よ、
はばたけ
のぼりべつ。

のびのびのぼりべつ協議会
住所 北海道登別市〇〇町☆☆番地
TEL 0120-〇〇〇-☆☆☆

ポスター作成 同志社大学真山ゼミB班



ママの笑顔を
守りたい。

のびのびのぼりべつ協議会
住所 北海道登別市〇〇町☆☆番地
TEL 0120-〇〇〇-☆☆☆

ポスター作成 同志社大学真山ゼミB班



地域スポーツ施設
整備助成金
(スポーツ庁)

子どもゆめ基金
(独立行政法人国立
青少年教育振興機構)

次世代育成支援対策
施設整備交付金
(子ども家庭庁)

サービス使用料

04

まとめ



- ✓ のぼりっこ保育
- ✓ のぼりんぐあっぷ
- ✓ ホビケア



親のリフレッシュ促進事業で
生産年齢人口の増加を狙う

保護者

のびのびと
子育てできる
環境

育児の場所
として認識さ
れる

子育て世代
の流入

子ども

体験学習で
登別につい
て知る

シビックプラ
イドUP

将来の人口
流出の抑制

- <https://prtmes.jp>
働く女性の子どもに関する調査
- <https://www.city.noboribetsu.lg.jp>
登別市子ども・子育て支援に関するニーズ調査
- <https://www.jpnsport.go.jp>
地域スポーツ施設整備助成
- <https://yumekikin.niye.go.jp>
子どもゆめ基金
- <https://kouseikyoku.mhlw.go.jp>
次世代育成支援対策施設整備交付金について
- noboribetsu-seisaku-f.com
**全国大学政策フォーラムinのぼりべつ
(真山ゼミBチーム)**

THANK YOU!

ありがとうございました